

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	009	事業名	契約検査事業				担当部課	総務部行政課	
基本情報	第5次総合計画・基本方針	✓ みんなの力を結集する自治と協働のまち				会計区分	一般会計		
	まちづくり行程表・フラッグ	—				予算区分(款—項—目)			
	第6次総合計画・基本目標	—				2-1-1 一般管理費			
	法定受託事務の有無	—							
	その他(関係計画、要綱等)	✓ 地方自治法、長久手市契約規則、長久手市契約事務要綱							
事業開始の背景、経緯等	契約事務の執行が、本市の契約規則及び契約事務要綱の規定に基づき適切に行われているか検査することにより、公正・透明な行政運営の確立を目指す。								
事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) ・本市が契約を締結する建設工事、業務委託、物品等の競争入札あるいは契約手続に関する検査業務を行う。 ・あいち電子調達共同システムを活用し、電子入札事務手続を一元化して行う。 ・備品の管理業務を行う。							
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 職員、入札参加者							
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 契約事務手続を公正かつ透明に実施していくために必要な規則等の解釈を全庁的に共有し、職員のスキルを向上させる。							
	事業を構成する事務事業(B票)	① 契約検査事業	改善・見直し	④					
	②			⑤					
	③			⑥					
コスト推移	項目	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)	
	事業費(A)	千円	予算	3,352	6,586	6,624	5,990	3,565	
			決算	5,319	6,000	4,114	3,144		
	人件費(B)	千円	決算	970	15,582	17,801	13,353		
総コスト(A)+(B)	千円	決算	6,289	21,582	21,915	16,497			
成果推移	成果指標	単位	区分	27年度(2015)	28年度(2016)	29年度(2017)	30年度(2018)	元年度(2019)	
	A 指名審査会等の審査案件数	件	目標	171	171	149	157	197	
			実績	171	149	157	197		
	B 電子入札件数	件	目標	165	182	154	170	215	
			実績	182	154	170	215		
	C		目標						
			実績						
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)									
A	一般競争入札に係る入札参加資格及び指名競争入札に係る指名業者選定について、入札参加資格委員会及び入札参加者指名審査会に諮ることで、公平公正な契約事務を行うことができる。								
B	工事・設計測量等業務、物品及び役務の提供等委託業務について、あいち共同調達システムによる電子入札を実施することにより、契約事務の公平性と透明性を確保できることに加え、事務の簡素化を図ることができる。								
C									
環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 予算執行から入札・契約事務、契約結果の公表から完了・支払までの一連の事務手続きについて、事務の効率化やシステム化が進んでいる。							
評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) ほぼ全ての部署で契約事務が行われ、適正に入札業務を遂行している。(発注内容及び設計金額により、審査会での審議を要しない案件があるため、審査件数と電子入札件数は、一致しない)							
	過去5年間の振り返り	(過去5年間の事業の進捗状況、改善状況などの振り返り) 過去5年間の事業の進捗状況、改善状況などの振り返り							
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) ほぼ全ての部署で契約事務は行われているが、各部署にその手続が適正か判断できる職員がいない。							
今後	今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) ・国、県等の制度改正を市に取り入れることで、契約事務における適正さを高める。 ・職員が起案する契約事務文書を確認、指導することで、契約事務手続方法を職員に周知する。							
	中長期の目標	(いつごろまでに事業をどのような状態にしたいか) 平成35年までに、契約関係書類の単純な間違いを、ほぼ0%まで減らす。							

内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当による意見	・事務の効率化などの面から契約の包括化に向けた取組を検討してください。
------	-------------------------	-------------------------------------

長久手市行政評価票（B票：事務事業評価票）

事業(A票)名	契約検査事業		担当部課	総務部行政課	決算書ページ	—
事務事業名	①	契約検査事業	予算区分	2-1-1 一般管理費		
事務事業の期間	事務事業開始年度	-	終了(予定)年度	-		

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) <ul style="list-style-type: none"> 職員が行う契約事務について、地方自治法、長久手市契約規則、長久手市契約事務要綱等に基づき適切に執行されているかを確認している。 職員が行う契約事務のうち、一定額以上の競争入札について、電子入札事務を一元化して実施している。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 市が行う契約事務の透明性・公平性を確立したい。

2. コスト推移

項目	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
事業費	千円	予算	3,352	6,586	6,624	5,990	3,565
		決算	5,319	6,000	4,114	3,144	
<備考：事業費の主な内訳（30年度(2018)）>							
(1)		あいち電子自治体推進協議会負担金					2,869 千円
(2)		公共建築工事積算単価データ利用料					227 千円
(3)		消耗品費					30 千円

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	27年度 (2015)	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
指名審査会等の審査案件数	件	見込	171	171	149	157	197
		実績	171	149	157	197	
電子入札件数	件	見込	165	182	154	170	215
		実績	182	154	170	215	
<備考：活動の概要（30年度(2018)）>							
<ul style="list-style-type: none"> 指名競争入札の参加者の審査を172件、一般競争入札参加資格の審査を25件実施した。 あいち電子調達共同システムを活用した電子入札について、工事及び設計測量等業務委託を102件、物品及び役務の提供等委託業務を113件実施した。 							

4. 事務事業を取り巻く環境変化

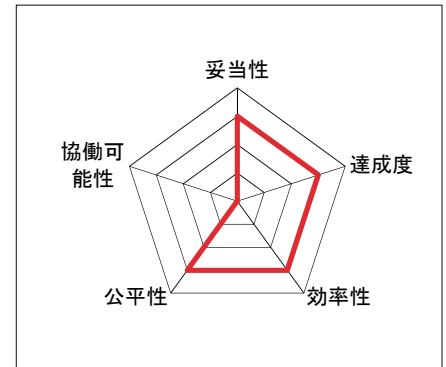
(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)
県下検査事務連絡協議会において、工事成績の採点基準を愛知県内で統一し、相互利用できるようならないか検討している。

5. 前年度からの改善状況

(1) 財政状況		
(前年度【予算額】)	(今年度【予算額】)	(増減額)
5,990 千円	3,565 千円	△ 2,425 千円
(2) 前年度の評価状況《参考》		
・前年度【今後の方向性】	現状維持	
・前年度【コメント】	工事や委託を定期的に発注している部署の職員は、契約事務の制度に対する理解度が高いが、年度当初にしか契約事務を行わない部署の職員や入庁して数年しか経過していない職員は、理解できていない事が多い。翌年度の制度改正の説明以外の時期に、希望者に対して説明会を開催することで、職員に対する周知を図る。	
(3) 改善状況	(何をどのような状態に改善したのか)	

6. 評価

項目	評価
妥当性	3
達成度	3
効率性	3
公平性	3
協働可能性	-



【協働可能性について】

(1) 市民参加の延べ人数 (人)				
区分	28年度 (2016)	29年度 (2017)	30年度 (2018)	元年度 (2019)
見込	0	0	0	0
実績	0	0	0	0
(2) 協働の状況 (30年度(2018))				
(協働で取り組んだこと、評価できない理由など)				

【活動エピソード】

(活動のエピソード、コメント、特記事項など)

【改善ポイント】

(改善が必要なこと、改善の方法など)
工事や委託を定期的に発注している部署の職員は、契約事務の制度に対する理解度が高いが、年度当初にしか契約事務を行わない部署の職員や入庁して数年しか経過していない職員は、理解できていない事が多い。翌年度の制度改正の説明以外の時期に、希望者に対して説明会を開催することで、職員に対する周知を図る。

7. 今後の方向性

改善・見直し